

1. はじめに

この報告書は、東日本大震災の被害を受けられ、現在、仮設住宅住まいを余儀なくされている方々に、仮設住宅に赴き、支援活動を行なった宮城県生活学校連絡協議会の活動記録である。

活動をはじめるときには、生みの苦しみが伴う。

この仮設住宅訪問活動も例外ではなかった。というより、この活動の生みの苦しみはとりわけ大きかったといえよう。

祝前さんや久我さんの感想文にあるように、「どこに仮設住宅があり?」「子どもが何人いるのか?」「どこに連絡を取れば良いのか?」などなどが皆目わからなかった。この活動は、仮設住宅に住む子ども支援をねらいとしたが、「子どもはいないよ」ということで諦めたケースもあったと聞く。また、「すでに多くの団体が支援に入っているのでは…」と言われるケースもあったと聞く。

代表の祝前さんには宮城県内をまさに東奔西走していただいた。そんな中、支援活動の話聞いた仮設住宅に住むお母さん方から、「同じ仮設住宅に住んでいても住民同士の交流がない。交流のきっかけになると思うので、ぜひ開催して欲しい」という声をいただき、その期待に応えるかたちで活動がスタートするところもあった。そんな紆余曲折を経て、県内の仮設住宅5箇所での訪問支援活動がスタートした。

もちろんスタートしてからも、喜んでもらえるためには? とメンバーの話し合いや試みがそれぞれなされ、5つの生活学校が、受け持ったそれぞれの仮設住宅に5回の訪問支援活動を、惜しまれつつ終えることができた。

報告書の内容は、個々の訪問活動の記録、生活学校メンバーの感想、仮設住宅にお住まいの方々の感想で構成されている。読者は、この生の声に接していただき、今後の復興支援活動、あるいは地域活動をする上で、お役に立てていただければ幸いである。

なお、5箇所、5回の訪問支援活動で、仮設住宅にお住まいの方の参加者は、延べ 625 名に上っており、一回あたり平均 25 名となった。

今回の独立行政法人福祉医療機構の助成による活動は終了したが、復興支援活動、とくに仮設住宅の人々に対しての支援活動は、これからも続けられる。この支援活動を行っていた宮城県の生活学校のメンバーからは、新たな支援策も提案されている。この動きに期待し、当協会としても、この活動に呼応して活動を続けていきたいと考えている。

今回の震災で、宮城県内の生活学校の中には、メンバーを亡くされたところもある。家族や知人を亡くされた方や家屋の全・半壊の被害を受けた方もおられる。そんな中、この活動に携わっていただいたメンバーの方には感謝申し上げます。

公益財団法人あしたの日本を創る協会


2. 訪問活動の内容


(1) 訪問団体 仙台市泉ひまわり生活学校

訪問先 多賀城市多賀城公園野球場仮設住宅




訪問日時・場所	第1回 10月29日(日) 13:30~15:30 多賀城公園野球場仮設住宅
参加人数	21名(幼児4人、小学生7人、母親4人、大人6人)
活動内容	—事前に一人ひとりが責任をもって指導(相手)出来るよう準備・勉強会を開催— ・折り紙で作成したコマ、牛乳パックで作成した紙トンボ、新聞紙クラフト(ボール、フリスビー)などを持参し、一緒に遊ぶ(30分程) ・遊んでふれて自分が作りたいものをそれぞれ自由に作る(40分程) ・戸外・室内を含めて遊ぶ。戸外では、キャッチボール、ドッチボールなど。メンバーは、元気に相手をして満足。 ・大人向けには、カレンダーからマイバッグ、折り紙で宝石箱作りなど ・ティータイム(15:10~30) ・大人には、アクリルたわしを、子どもにはコマ(2個)をプレゼントして終了。
参加者の感想	・「ティータイム」—お茶とお菓子を食べながら、「楽しかった人」と声をかけたら、全員が手を上げてくれた。 ・「もっとやりたい」「思いきり楽しめた」「次回はアクリルたわしを編んでみたい」「作り方をとっていたが、津波ですべて流されたので、今回参加してとても良かった。また、やって欲しい」 ・「作品作りをしている自分の子どもをみて、その兄弟愛に感動しました」との母親の発言。
メンバーの感想	・参加者の明るさに勇気づけられた。 ・子どもの発想に教えられた。(牛乳パックで紙トンボ作成のとき、ホッチキスどめは妹には危ないので、セロテープでとめていた) ・女の子は乳幼児以外、一人もいなかった(どうして?)。 ・ボールやフリスビーは事前に作って持参したけれど、作ってもらっても良かったかな。 ・竹トンボに一年生の男の子が「がんばろう日本」(と書いた)のにはびっくりした。
その他	・「ティータイム」を設けたことと参加者全員に「プレゼント」を渡せたので、とても喜んでもらえて良かった。 ・天気が良かったので、男の子は戸外で思いっきり遊べて良かった。 ・13時30分からなのに、13時に会場についたときには、10人ほどが待っていてくれたので、ホッとした。

訪問日時・場所	第2回 11月26日(土) 13:30~15:30 多賀城公園野球場仮設住宅
参加人数	15名(小学生4人、母親2人、大人9人)
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども用 <ul style="list-style-type: none"> ・「作って楽しもう」 輪投げ、フリスビー、紙トンボ、牛乳パックでクラフト作り。 ・おやつタイム ○大人用 <ul style="list-style-type: none"> ・アクリルたわし作り ・和紙で小物入れ ・カレンダーでマイバッグ ・コーヒータイム「おしゃべりタイム」 ○プレゼント <ul style="list-style-type: none"> ・風呂洗い用のアクリルたわし(大人)、おやつ(子ども) 
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども <ul style="list-style-type: none"> ・初参加の子ども—おやつタイムが良かった。 ○大人 <ul style="list-style-type: none"> ・今回の日を楽しみにしていた。 ・復習が出来、すっかり覚えることが出来て良かった。編み物初体験で感激した。 ・仮設住宅の隣同士でも交流がなくさびしい思いをしていたが、話し合いもできてとても楽しかった。また参加したい。
メンバーの感想	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめて(編み物体験)のわりに上達が早く驚いた。 ・2回目の参加の人たちは心を開いて自分の健康面のことなどを話してくれて嬉しかった。 ・子どもたちが別の行事と重なっていたとのことで、参加者が少なく残念だった。 ・はじめて来た子どもたちが、何も作りたがらなくて、寂しい思いをした。 ・顔なじみの人が出来、自然体での会話がとても良かった。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅自体に子どもが少ないうえに、何かの行事と重なると参加者が少ない。子ども支援活動はむずかしいと感じた。 ・帰りには、スタッフ会をしているので、皆でその日の感想を話し合っているのがとても良い。 ・次回(12月25日)はクリスマス会を皆で盛り上げるための内容の検討も出来て良かった。

訪問日時・場所	第3回 12月25日(日) 13:30~15:30 多賀城公園野球場仮設住宅
参加人数	70人(乳児2人、幼児10人、小学生8人、中学生2人、大人44人、職員4人)
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども <ul style="list-style-type: none"> ・フリスビー、ボール遊び、ルービックキューブ、輪投げ、お手玉 ○大人 <ul style="list-style-type: none"> ・アクリルたわし作り、折り紙(五弁の花)作り ○後半 <ul style="list-style-type: none"> ・お好み焼きパーティ ・クリスマスの飾り付け—サンタからのプレゼント 子ども向け—おやつ、折り紙コマ、ペン立てほか 大人向け—和紙人形の箸入れ、折り紙の連獅子、ペン立て、アクリルたわし
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・すべて手作りのプレゼントでとてもうれしい。 ・お好み焼き作りに手伝って良かった、とても美味しかった。 ・アクリルたわしが編めてとても良かった。 ・家族全員で参加して楽しかった。次回も来ます。
メンバーの感想	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス会の会場作りは、たくさんの方が参加して和やかな雰囲気の中、交流できた。 ・お好み焼きが大好評で良かった。 ・参加者が多かったため、夢中になって指導したが喜んでもらえて良かった。 ・毎回参加している人が、「楽しみに待っていた」と言われ嬉しかった。 ・編み物の参加者で左利きの人の指導に戸惑った。 ・用意した毛糸が足りなくなりそうで心配だった。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・日曜日、クリスマス、お好み焼きパーティやプレゼントあり、さらにチラシによるPRの効果で、大勢の参加があり、賑わい良かった。 ・事前の準備も徹底的に行なった。 ・取材もあって心配したが、大成功にホッとした。 

訪問日時・場所	第4回 1月22日(日) 13:30~15:30 多賀城公園野球場仮設住宅
参加人数	29人(乳児1人、幼児3人、小学生1人、中学生1人、大人21人)
活動内容	「皆でつくろう 遊ぼう 楽しもう」 ○大人 アクリルたわし作り、折り紙 ○子ども お絵かき、フリスビー、輪投げ、ボール・レゴ遊び ○全員 ビンゴゲーム、コーヒータイム、アンケート調査 ・スタッフはフル回転。アクリルたわし、折り紙等の指導等分担。子どもの相手は常時3人が対応。 ・13時頃から参加者があり、13時20分から始め、終了は15時45分。 ・ビンゴゲームの商品には、反射材のマイバッグと手作りブローチ、子どもには、お菓子とマスコットをプレゼント。
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・親切で分かりやすく指導してもらえて、とても楽しい。 ・先月の「お好み焼き」はとても美味しかった。 ・毎回楽しみに参加している。これからも続けて欲しい。 ・アクリルたわしは是非やってみたい。 ・子どもも嬉しそうで良かった。 <p>(子どもの声)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい。 ・おばあちゃんより私の方が絵が上手だ。 
メンバーの感想	<ul style="list-style-type: none"> ・若い親子、夫婦(1組)の参加は嬉しい。 ・回を重ねるごとに打ち解けて会話も弾み、笑顔が見られるようになり、何よりも嬉しい。 ・前回教えた折り紙に工夫を加えて作ってきた人がいてとても嬉しかった。 ・子どもの参加者もスタッフの顔を覚えていてくれ、元気が良く、スタッフもタジタジとなる。 ・毛糸持参の参加者もいてレパートリーもずいぶん広がった。 ・皆熱心で時間も延びたけれど、喜んでもらえて良かった。 ・アンケートは気持ちよく書いてもらってホッとした。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県の鈴鹿生活学校から届いた手作りのブローチをプレゼント。作り方を教えて欲しいと言われ、作り方を勉強しなければ。 ・今年一番の大雪で心配したが、晴れてきたので、途中下車して、早めの夕食を摂りながらのミーティング。今日の反省と次回に向けての意見交換を行なうことが出来、とても良かった。

訪問日時・場所	第5回 2月12日(日) 13:30~16:00 多賀城公園野球場仮設住宅
参加人数	26人(子ども5人、大人21人)
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アクリルたわしなど毛糸で小物作り ・英字新聞やカレンダーからのマイバッグ作り ・和紙で小物入れ作り ・つまようじ入れ作り ・今まで作った手作り品を用意し、それぞれ好きなものを作成。回を重ねて、今日はこれを作りたいと目的をもって参加した人、また、初めて参加した人に少しずつ教えられる人もできた。 ・アンケート(コーヒーにお茶、おやつタイム)をしながら、おしゃべり。アクリルたわし作り活動の説明も行なう。 ・お雛様の色紙プレゼント、ティータイム ・アンケート調査 
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみに待っていた。予定通り完成し嬉しい。 ・工夫が活かされて好みの作品ができた。これからもぜひ続けてほしい。 ・英字新聞のマイバッグが素敵にできあがり良かった。 ・今日は何を覚えてもらえるか楽しみに参加した。 ・今日は初参加。今までチラシに気が付かなかったので残念。これからもぜひ続けてほしい。
メンバーの感想	<ul style="list-style-type: none"> ・顔なじみの人が増え、家族の話もしてくれるようになり嬉しい。 ・すっかり顔なじみになり、笑顔が増えてきたことは何より嬉しい。 ・みな熱心で教えがいがあると思う。 ・和やかな会話が嬉しい。 ・みな熱心で、あっという間に時間が過ぎてしまう。 ・子どもとも仲良くおしゃべりできてよかった。 ・作品ができあがった時の笑顔、一緒に喜べてとても良かった。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども支援なのに、大人の方が熱心で、時間ぎりぎりまで夢中になっている人が多い。 ・アクリルたわし(全国運動)のことを話したら、毛糸がもらえるならお金はいらないからお礼に編ませてほしいと言われ、その気持ちは嬉しかったが少々戸惑ってしまった。 ・会場全体が明るくなり、参加者から「楽しかった、ぜひ続けてほしい」の声に、スタッフ全員「やって良かった」 ・多賀城市復興支援センターからも、できれば毎月来てほしい、参加者からも大変好評の声が届いているとのこと。